

資料 帯 8

令和 5 年度 北海道CLASSプロジェクト実施成果報告書（3 年次）

学校名	北海道帯広三条高等学校
作成日	令和 5 年 1 2 月 1 8 日

1 今年度の検証について

①	検証の項目	Collaboration
	検証の方法	地域人材活用団体数並びに協力人数
	検証結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの企業・団体や個人の方々の協力をいただき、生徒たちは多くの気付きや経験を得ることができた。特に今年度は生徒から「こんな人の話を聞きたい」という希望があり、コーディネーターにつないで実現するケースが増えた。</li> <li>・地域人材活用団体 53 延べ人数 83 人（資料 1）</li> </ul>

②	検証の項目	Literacy
	検証の方法	・生徒の変容が見えるアンケート
	検証結果	・探究活動により地域の愛着が増し、地域への参画意識がとて高くなった。

③	検証の項目	Adult
	検証の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業以外での活動事例</li> <li>・外部人材と協働した成果及び成果物</li> </ul>
	検証結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部人材から刺激を受け、生徒自ら授業以外での活動を希望することが増え、学校側もそれに公欠としたことにより、校外での活動が増えた。（資料 2）</li> <li>・2 年次の類型別探究では、それぞれ外部人材と協働してポスターセッションを開催した。それぞれが設定した課題を掘り下げ、他の人に探究の成果をしっかりと伝えられるよう、それぞれ工夫を凝らしたポスターを作成した。</li> </ul>

④	検証の項目	Student
	検証の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価指標の作成とそれによる外部評価</li> <li>・各ゼミにおける個々の課題設定</li> </ul>
	検証結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校で育てたい資質能力のルーブリックを策定した。（資料 3）</li> <li>一方、外部評価においては、当初、昨年同様経済産業省「未来の教室」実証事業「多様な生徒に、低コストで対応できる客観性を担保した探究の科学的なパフォーマンス評価モデル開発」（IGS 株式会社）参加の予定だったが、スケジュールの都合から実施できなかった。こういった第三者評価のフィードバックは研究レポート作成と</li> </ul>

資料 帯 8

		<p>探究型学習の精度向上へつながるものと思うが、スケジュールや費用の面で継続は難しい。外部評価のあり方が課題となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年次では「地域」という統一テーマのもと、9つの分野におけるゼミ形式での探究を展開した。2年次は各自の進路希望に即した6つの類型に分かれ、各自がテーマ設定を行った。</li> </ul>
--	--	---

⑤	検証の項目	System
	検証の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活用人材リスト</li> <li>・ 生徒の校外活動のシステム設定</li> <li>・ 「CLASS」5つの取組に関する協議の実施</li> </ul>
	検証結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コーディネーターが活用人材リスト（プロフィール）を作成し、その中から外部人材をピックアップすることでスムーズに活用が進んだ。</li> <li>・ 生徒の校外活動、特に「総合的な探究の時間」における探究活動を校内だけにとどめることなく校外での活動を公欠として認めることで、3件22名の生徒が外部での活動を行った。生徒の自発的な希望によるものであり、より主体的な取組を促す結果となった。条件を整備し今後も継続したい。</li> <li>・ 「CLASS」5つの取組について探究推進部で共有し、それを反映した取組になるよう定例の分掌会議（担当者間打合せを含む）を行った。</li> </ul>

2 当事者の声について

生徒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開西病院での体験を通して現役で働いている方の人との接し方や看護師の仕事を見ることが、看護師の仕事にはいろいろな問題があることを知ったが、それでも看護師になりたいと思った。また、看護師として子どもたちに憧れてもらえるようになりたい。 (「看護・医療&amp;地域支援」類型)</li> <li>・ 私は将来、学校関係の仕事に就きたいと思っているので、今回学んだことを活かしていきたい。具体的に、これから不登校の生徒はより増えていくと思うので、不登校の生徒を減らそうとするのではなく、不登校の生徒とどのように関わっていくかということを考えていきたい。 (「教育・スポーツ」類型)</li> <li>・ 私は、大学生になったら絶対に長期留学に行く決めていたので、今回のCプロ（総合的な探究の時間）でより一層それが楽しみになった。将来は英語を使う仕事に就く、もしくは海外で働くという目的を達するための意欲も増して、改めてすごくよい経験になったと思った。今度は、自分が海外の学生に日本のことをたくさん教える立場になってみたいとも思った。 (「国際理解・人権」類型)</li> </ul>
----	---

資料 帯8

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に帯広畜産大学に行ってみて、大学の大きさ、施設の多さ、そしてそのきれいさにとても驚いたし、中に入ると学生の皆さんは研究室でずっと熱心に研究をしていて、とても魅力があると思った。また、大学の先生方の研究テーマや、話を聞けてとても楽しかった。そのため、帯広畜産大学に行きたくなったり、理系の大学に入りたいと改めて思った。</li> </ul> <p style="text-align: right;">（「SCIENCE &amp; TECHNOLOGY」類型）</p>
教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、教員ともに専門家と直接会える機会は勉強、刺激となった。</li> <li>・テーマが具体化するほど、テーマに沿った人材を探すのが難しいと感じた。</li> <li>・地域人材の活用がカギだと思うが、地域の方も忙しいし、ボランティアなのでどこまで求めてよいか検討する必要がある。また、教員の役割を明確にするべきと考える。</li> <li>・地域の方が来ていただけるのは本当にありがたい。生徒の活動に対して、適切にアドバイスをさせていただいたり、生徒の考えを発展させてくれたりする場面が多かった。また、三条高校の取組を客観的に見てもらえるだけでもよい。今後も三条高校が地域に開かれ、多くの地域人材が学校を訪れるようになることを期待する。</li> </ul>
地域の方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短時間で伝えられること、伝えたいことを生徒さんたちと向き合うことは難しいと思うが、地域の課題を理解し考えてまとめてくれたことが本当に嬉しかったし、私たち大人も頑張らないと引き締まる思いでした。（医療福祉に参加）</li> <li>・美術館に足を運んでもらいたいという長年の夢を課題として取り上げてもらえたことは私も嬉しく思います。年齢が若く感性豊かな高校生が美術館により多く来てほしいと本当に思いました。人と違う感覚、見え方や捉え方を受け止めて人と人とは繋がり合い、許し合っていくものです。素敵な機会に呼んでいただいて対話ができたと嬉しく思います。（美術・アートに参加）</li> <li>・我々の自信溢れる商品のパンをさらに輝かせるよう考えて工夫して、実際に作ってくれている様子に心が打たれました、ぼくも食べてみたいです。そしてフェス！来年もやりましょう。（地域貢献参加）</li> </ul>

3 今年度（令和5年度）の取組について

月	コンソーシアム会議・関係者打合せ等	主な学習活動
4	関係者打合せ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帯広市役所との協働による『帯広市のまちづくり』対話（3年次「自己表現」）（5月、9～10月）</li> <li>・2年次「類型別探究」（6～12月）</li> <li>・中学生向け学校説明会企画運営（3年次「自己表現」）（9月）</li> <li>・美術館との協働による対話型鑑賞（3</li> </ul>
5		
6	関係者打合せ	
7	関係者打合せ	
8	関係者打合せ	
9	関係者打合せ	
	CLASS プロジェクト三者協議	

資料 帯 8

	第 1 回コンソーシアム会議	年次「自己表現」）（11月） ・小中学校教育体験（2年次）（11月） ・1・2年次探究発表会（12月） ・3年次「自己表現」探究発表会（12月）
10	関係者打合せ	
11	関係者打合せ	
12	関係者打合せ探究発表会（1年次・2年次）	
1	関係者打合せ	
2	第 2 回コンソーシアム会議	
3	関係者打合せ	

4 自走可能な体制整備に向けた方策について

- ・探究推進を担当する分掌組織
- ・外部人材リストの作成
- ・団体会計からのコーディネーター費用の捻出検討
- ・コンソーシアム会議の継続と活用

5 圏域の研究指定校等、他校との連携・交流について

- ・推進校と連携校間で探究発表会を担当教諭が見学した。
- ・探究に関して羅臼高校・羅臼町教委、根室高校の訪問を受け、取組の説明をした。

6 学校独自の取組・工夫

- ・探究を推進する分掌「探究推進部」を設置した。
- ・生徒の探究に関係する外部活動に対して公欠を認めてバックアップした。
- ・探究活動の補助として各年次に 10 万円の予算を団体会計から確保し、それぞれ年次の裁量で使えるようにした。

7 その他特記すべき事項

特になし

## 資料 帯 8

< 3年間のまとめとして >

## 8 3年間の成果

## (1) 総合探究における外部人材の活用と校外での体験活動の実施

外部人材の活用数が令和4年度のべ117名、令和5年度のべ83名となり、地域人材とともに生徒の探究活動を支えるという体制が定着した。また、令和5年度は授業時間以外の平日のイベントや実験、または企業への取材活動などの探究活動に公欠での参加を認める体制を作ることができた。資料3中の「不登校児童生徒との交流イベント（おしゃべりサロン smiley 主催）への参加、「地域の防災企業として災害に強いまちづくり」を理念に掲げる宮坂建設工業株式会社本社訪問や帯広畜産大学でのバイオテクノロジーに関する実験実習がそれにあたる（2年次に2例、1年次に1例）。

## (2) 地域への愛着および地域への参画意識の向上

生徒アンケートより地域人材と関わることで「地域や社会に好き、どちらかと言えば好き」と答える生徒が増加し、「地域は自分が関わることで変えられる」と答える生徒も増加した。特に「地域に自分が関わることで変えられる」という考えをもつ生徒が4%から20%まで増加した。

## 9 3年間の課題

## (1) 持続可能な体制作り

プロジェクト終了後も、地域コーディネーターと教員の連携体制を維持し、三条高校としての持続可能な体制作りをすることが重要である。

## (2) 教員のマインドセット

教員アンケートより「地域探究を実施するのは難しい」（令和4年度）という質問に対して「とてもそう思う・そう思う」と回答した教員が全体の27%であったのに対して、「類型別探究を実施するのは難しい」（令和5年度）という質問に対して「とてもそう思う・そう思う」を回答した教員が全体の70%であった。地域人材の活用により、生徒の探究活動が進むことを感じつつも、生徒の探究活動に伴走することに難しさを感じている教員が多い。”指導する”というスタンスから”地域の人と一緒に伴走する”というスタンスへのマインドセットが必要である。

## 【資料1】 外部人材活用

《協力いただいた主な企業・団体並びに外部人材数》

## ○1年次

主な企業・団体	
国際理解	帯広コア専門学校・JICA 他
医療福祉	十勝毎日新聞社・がん患者支援の会プレシヤス・NPO ぐらんつ 他
地域振興	十勝あんこ協会・十勝毎日新聞社 他
自然科学	アークコーポレーション・帯広市役所・宮坂建設 他
商業経済	お豆の燻製屋「とん。」・スタジオザンビ・フクハラ・しんかーず 他
食と生活	満寿屋商店・藤森商会 他
芸術表現	帯広市美術振興財団
教育	北海道教育大学釧路校・帯広大谷短大・西小・帯広第二中
スポーツ	全日本ミニバレー協会

37 企業・団体 63 名

## ○2年次

主な企業・団体	
アート・表現	POPKE GALLERY・マテックプロダクツ クナウパブリッシング
地域課題解決	北海道庁・小樽商科大・満寿屋商店・帯広市役所・十勝観光協会
教育・スポーツ	帯広養護学校・ちくだい KIP・輪～む・北斗クリニック 他
SCIENCE & TECHNOLOGY	帯広畜産大
看護・医療 & 地域支援	開西病院 他
国際理解・人権	JICA・北海道大学

16 企業・団体 20 名

## 【資料2】 授業以外・学校外での活動事例

### ○【2023.7/2】地域イベント『第1回ティラノサウルスレース in とかち』ボランティア参加



本校生徒16名がボランティアとして『第1回ティラノサウルスレース in とかち』に参加しました。生徒たちは他校のボランティア生徒とともにイベントの受付やデモンストレーションなど先を見通して積極的に行動し、イベントの成功に大きく貢献しました。

### ○【2023.7/14】「教育・スポーツ 類型」インクルーシブ教育を学ぶ



2年次総合的な探究の時間で「教育・スポーツ類型」に所属する生徒56名は、帯広養護学校を訪問し、インクルーシブ教育の実際について学びを深めました。教職や福祉の道を志す生徒にとって、将来について考えを深める好機となりました。

### ○【2023.8/5】本校生徒企画「麦音 De フェス」開催！



昨年度、本校3年次生が企画に加わって始まった本フェス。2回目となる今回も有志がお手伝いに参加しました。地域と協働した取組が、このように回数を重ねていくこと、また、先輩から後輩へとバトンが引き継がれていくことによって、地域とのつながりがますます深まっていくことを実感します。

### ○【2023.10/25】不登校児童生徒との交流イベント（おしゃべりサロン smiley 主催）参加



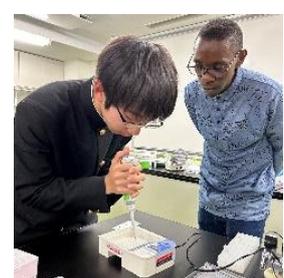
2年次総合的な探究の時間で実施している探究活動で「教育・スポーツ」類型に生徒たちの中で、「『不登校』の言葉のイメージとその実際」というテーマで探究をしている生徒8名が、外部イベントに参加し、不登校の児童生徒と関わることで、探究活動の情報収集をしました。

### ○【2023.11/17】「地域の防災企業として災害に強いまちづくり」を理念に掲げる企業訪問



1年次総合的な探究の時間「地域探究」（自然科学分野・防災グループ）において、「地域の防災企業として災害に強いまちづくり」を理念に掲げている宮坂建設工業株式会社本社を生徒5名が訪ねました。当社は、地域防災訓練の実施や防災センター棟の所有など、地域に対する防災活動を展開しており、その取組について説明を受けました。

### ○【2023.12/13】帯広畜産大学でのバイオテクノロジーに関する実験実習

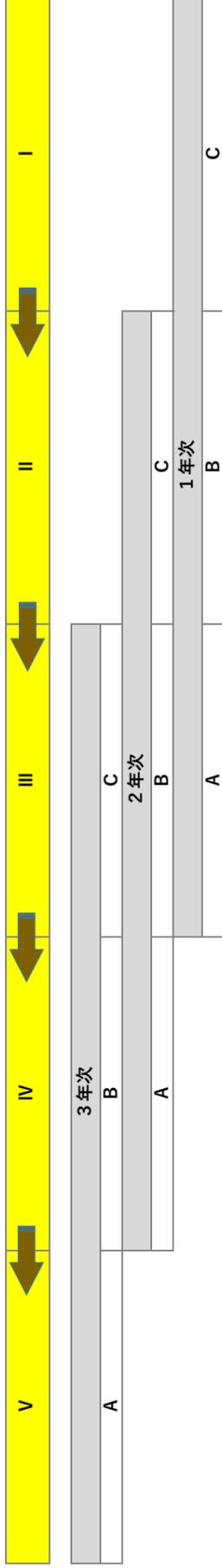


2年次の総合的な探究の時間で実施している探究活動で「SCIENCE & TECHNOLOGY」類型の生徒で「バイオテクノロジー」をテーマにしている生徒9名が、帯広畜産大学の設備を利用し実際に生徒自らの手でDNAを検出する実験を行うことで、体験的に探究活動における学びを深めました。

【資料3】 本校で育てたい資質能力のルーブリック

三条高校が育成を目指す資質・能力

4個の力 ①～④	10個の力 ①～⑩
-------------	--------------



① 高いコミュニケーション能力を備え、他と協働して課題を解決する力	① 傾聴力 相手の立場や意図を理解しながら、丁寧に話を傾けながら「相手の話を注意深く積極的に聴く」力	相手の話を熱心に聴き、言葉の意味だけを捉えるのではなく、声のトーンや表情にも注意を払って、相手が意図することを引き出しながら理解することができる。 【プラス積極性】 【プラス傾聴力】	相手の話を熱心に聴き、言葉の意味を捉え、相手が意図することを理解することができる。 【プラス能力】	相手の話を熱心に聴こうとしている。言葉の意味を捉えようとしている。 【プラス意欲】	相手の話を聴いたり、言葉の意味を捉えたりしようとしている。
	② 発信力 相手の立場や意図を理解しながら、自分の意見について、適切な手法を用いながら「相手に分かりやすく伝える」力	相手の求めていることを考えながら、自分の意見を分かりやすく、過不足なく正確に、的確な言葉や情報機器を用いて伝えることができる。 【プラス正確性】 【プラス思考力】	自分の意見を分かりやすく、的確な言葉や情報機器を用いて伝えようとしている。 【プラス意欲】	自分の意見を分かりやすく、的確な言葉や情報機器を用いて伝えようとしている。 【プラス意欲】	自分の意見を伝えようとしていない。
② 知識・技能の確実な習得をもとに、判断・表現する力	③ 想像力 実際に見たり聞いたりしたこと、経験したことや、頭の中で思い浮かべないことを「頭の中で思い浮かべない」力	相手の求めていることを考えながら、自分の意見を分かりやすく、過不足なく正確に、的確な言葉や情報機器を用いて伝えることができる。 【プラス正確性】 【プラス思考力】	相手の求めていることを考えながら、自分の意見を分かりやすく、的確な言葉や情報機器を用いて伝えることができる。 【プラス能力】	相手の求めていることを考えようとしていない。	
	④ 創造力 正解が一つだと決められない課題に対して、「自分なりの答えを見つけて出すことができる」力	常識にとらわれずに様々なことに疑いを持ち、考え、模索し、想像したことを計画・立案し、実践を繰り返すことで、新しいものや価値を生み出すことができる。 【プラス実践力】 【プラス協働性】	様々なことに興味・関心を持ち、想像したことを実践しようとしている。新しいものや価値を生み出すことができる。 【プラス意欲】	様々なことに興味・関心を持ち、想像したことを実践しようとしている。新しいものや価値を生み出すことができる。 【プラス意欲】	想像したことを実践しようとしていない。
③ 地域に対する理解を深め、そこから国際社会を探究する力	⑤ 計画力 問題を明らかにし、それを解決するための方法や順序を事前に考えながら、「よりよい計画を立てることができる」力	問題を明らかにし、そこから課題を整理して、それを解決するための優先順位を付け、やるべき事や手順など考えたことを仲間と共有することができる。 【プラス積極性】 【プラス実践力】	問題を明らかにし、そこから課題を整理して、それを解決するための優先順位を付け、やるべき事や手順など考えたことを仲間と共有することができる。 【プラス能力】	問題を明らかにし、そこから課題を整理して、それを解決するための優先順位を付け、やるべき事や手順など考えたことを仲間と共有しようとしている。 【プラス意欲】	課題を解決するためにやるべき事や手順などを考えようとしていない。
	⑥ 知識活用能力 課題解決のための方策を見いだし、提示するために活用する」力	学習して得た知識・技能を用いて、情報の収集・分析・評価し、課題の発見と解決のために必要な構想を立て、実践の改善することを通して、解決のための方策を見いだすことができる。 【プラス分析力】 【プラス実践力】	学習して得た知識・技能を用いて課題の発見と解決のために必要な構想を立て、実践の改善することを通して、解決のための方策を見いだすことができる。 【プラス能力】	学習して得た知識・技能を用いて課題の発見と解決のために必要な構想を立て、実践の改善しようとしている。 【プラス意欲】	学習して得た知識・技能を用いて課題の発見と解決のために必要な構想を立てようとしていない。
④ 自らの将来について主体的に考え、その実現に向けて努力する力	⑦ 分析力 よりよい社会を構築するために「課題や問題点を抽出しながら、物事を調査して要素を整理したり、振り下げたりする」力	地域課題を正しく把握し、ICT機器等を活用しながら課題解決のために必要な情報を集め、情報の内容を正確に把握することと協働しながら根拠に基づき情報を適切に整理することができる。 【プラス積極性】 【プラス整理力】	地域課題を正しく把握し、ICT機器等を活用しながら課題解決のために必要な情報を集め、情報の内容を正確に把握することができる。 【プラス能力】	地域課題を正しく把握し、ICT機器等を活用しながら課題解決のために必要な情報を集め、情報の内容を正確に把握しようとしている。 【プラス意欲】	ICT機器等を活用しながら課題解決のために必要な情報を集めようとしていない。
	⑧ 課題発見力 よりよい未来を創造するために「批判的思考力を持ちながら客観的に現状を分析し、課題を明らかにする」力	現状を正しく把握しつづつ、違和感や困り感を感じながら解決すべき課題を自分なりに見いだすことと、現状に満足せず、前提や思い込みにとらわれずに新たな課題を見いだすことができる。 【プラス批判的思考力】	現状を正しく把握しつづつ、違和感や困り感を感じながら解決すべき課題を自分なりに見いだすことと、現状に満足せず、前提や思い込みにとらわれずに新たな課題を見いだすことができる。 【プラス批判的思考力】	現状を正しく把握しつづつ、違和感や困り感を感じながら解決すべき課題を自分なりに見いだすことと、現状に満足せず、前提や思い込みにとらわれずに新たな課題を見いだすことができる。 【プラス意欲】	現状を正しく把握しつづつ、違和感や困り感を感じながら解決しようとしていない。
	⑨ 自己肯定力 よりよい人生を送るために「自分の価値や存在意義を見だし、自分自身を認め、尊重できる」力	他者の意見を尊重しながら自分の強みや弱みを客観的に理解し、他者の評価を過度に気にすることなく、自らの意図に基づいて積極的に行動することができる。 【プラス自立性】	自分の強みや弱みを自分なりに理解し、積極的に行動することができる。 【プラス能力】	自分の強みや弱みを自分なりに理解しようとしている。積極的に行動しようとしている。 【プラス意欲】	自分の強みや弱みを自分なりに理解したり、積極的に行動したりしようとしていない。
	⑩ 行動力 よりよい人生を送るために「自ら考えたことを行動に移すことができる」力	目的や目標を明確に持ち、達成のための手段を自ら考え、思考や発言だけで終わらずに実行に移し、最後まで責任を持ってやり遂げることができる。 【プラス実行力】 【プラス完遂力】	思考や発言だけで終わらせずに実行に移すことができる。 【プラス能力】	思考や発言だけで終わらせずに実行に移すことができる。 【プラス意欲】	思考や発言に終始し、実行に移そうとしていない。